



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,  
DAIDO CORPORATION HAS  
STEADILY GROWN BY PROVIDING  
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

**Pool Coat**<sup>®</sup>  
REG. NO. 790299

# プールサイド 遮熱工法

真夏の炎天下、プールサイドの熱さを和らげ  
快適な歩行を演出する

SINCE 1932.  
 **大同塗料株式会社**  
DAIDO CORPORATION<sup>®</sup>

# 真夏の炎天下、 プールサイドの熱さを和らげ 快適な歩行を演出する

## 特長

- 1 塗膜に遮熱機能を持たせることで、プールサイドの表面温度を極端に上がらないように抑制します。
- 2 プールサイドが複雑な形状であったり、多少の凹凸があったとしてもシームレスな美しいプールサイドが出現します。
- 3 ウレタンチップ等による防滑（ノンスリップ）仕上げで水に濡れても滑りにくく快適な歩行感が得られます。（工法 I）（工法 II）
- 4 水性で作業性が良く、経済性にも優れています。（工法 III）



## 標準タイプ

モルタルコンクリート面に一層ウレタン防水層を形成した後にプールコートターフを塗付します。適度な弾性を有する遮熱防水防滑被膜ができていきます。

### ■施工工程（新設モルタル面の場合）

工 程	品 名	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )
下 地	下地モルタルは、金ゴテ仕上げで、十分強度のあるもの。	
下地処理	適切な下地処理を行う。	
下 塗 <sup>*1</sup> (1~2回)	プールコート モルタル用プライマー-M セメント	0.1~0.15/回 0.05~0.075/回
中 塗	プールコートターフ 中塗	2.0
上 塗 (吹付け)	プールコートターフ ターフ弾性骨材	0.32~0.41 <sup>*2</sup>

※1 プールコート モルタル用プライマー-Mとセメントは

1：0.5（質量比）で混合し、コテ、ヘラでじごき塗りして下さい。

※2 シンナーを除く塗付量です。

●吹付け塗装が出来ない場合は、エストップ#60を専用の吹付け機で散布する工法をご検討下さい。

## 施工例



※写真は特別色です。

### 外気温35.0℃の炎天下における素足での感触

- コンクリート土間部は飛び跳ねるほど熱い。
- 個人差もありますが46~7℃を超えると素足ではじっと立っていただけません。
- ユカクリート ターフNo.18は熱くて我慢できません。

プールサイド遮熱工法5色とも熱さは感じられますが十分に我慢できます。

1

### 表面温度測定

基 板	平板ブロック
測定方法	試験板を弊社技術センター屋上に9：00に設置する。 試験板は下地コンクリートからの伝熱がないように高さ10cmの発泡スチロールの上に載せる。 14：00に温度を測定。 外気温温度 35℃

# プールサイド 遮熱工法の 表面温度測定

真夏の炎天下、プールサイドを素足で歩行する際に、あまりの熱さで  
 ついつい跳びはねるように歩いたことは誰でも一度や二度ならず経  
 験があることでしょう。

プールコート「**プールサイド遮熱工法**」は、そうしたプール  
 サイドの熱さを和らげ、素足での歩行感を大幅に改善します。



高級仕様

モルタルコンクリート面にクッション性の高い  
 ゴムチップを積層し、その上にプールコ  
 ートターフを塗付します。厚みが約1cm  
 にもなり、快適なクッション性と遮熱性を  
 兼ね備えたハイクレードな仕上がります。



水系・無機

遮熱機能を持った無機質の水系塗り床材  
 です。塗装に特殊な技術を必要としま  
 せんので経済的です。乾燥が速く呼吸性  
 があり、湿気を吸排しますので、塗膜が  
 膨れず短時間で軽歩行が可能です。イ  
 ンターロッキングブロックの塗装にも  
 適しています。

### ■施工工程(新設モルタル面の場合)

工 程	品 名	塗付量(kg/m <sup>2</sup> )
下 地	下地モルタルは、金ゴテ仕上げで、十分強度のあるもの。	
下地処理	適切な下地処理を行う。	
下 塗 (1~2回)	プールコート モルタル用プライマーM	0.10~0.15/回*3
舗 装	ゴムチップ#800-H	5.40
	ユカクリートチップ処理剤	0.14
	ユカクリートチップクワイヤー#500	1.35
目 止 め	プールコートターフ 中塗+その他	0.7~1.0
中 塗	プールコートターフ 中塗	1.3
上 塗 (吹付け)	プールコートターフ ターフ弾性骨材	0.32~0.41*3

\*3 シンナーを除く塗付量です。

●吹付け塗装が出来ない場合は、エストップ#60だけを専用の吹付け機で  
 散布する工法をご検討下さい。

### ■施工工程(新設モルタル面の場合)

工 程	品 名	塗付量(kg/m <sup>2</sup> )
下 地	下地モルタルは、金ゴテ仕上げで、十分強度のあるもの。	
下地処理	適切な下地処理を行う。	
下 塗	プールコート サイドカラー プライマーW	0.10*4
中 塗	プールコート サイドカラー 遮熱タイプ	0.3~0.4*4
上 塗	プールコート サイドカラー 遮熱タイプ	0.3~0.4*4

\*4 塗料のみの塗付量です。

## 2

### 現場実測値

#### ●測定結果(℃)

色 名	遮熱工法(II)	遮熱工法(III)
ブライトグリーン	43.8	-
ブライトブルー	43.3	43.8
パステルグリーン	42.8	43.4
クリーム	42.1	42.8
オレンジ	43.0	43.9

#### ●参考測定結果(℃)

コンクリート土間部	50.5
ユカクリート ターフ No.18 ターフグリーン	49.8
水系カラーファルト#300 グリーン	49.7
水系カラーファルト#300 ブルー	48.2
プールサイド用 塩ビシート ブラウン	49.6
プールサイド用 塩ビシート ブルー	48.3

遮熱工法(I)(II)は(III)に比べ足裏の接触面積が小さい  
 ので測定結果の差以上に熱さを感じにくくなります。

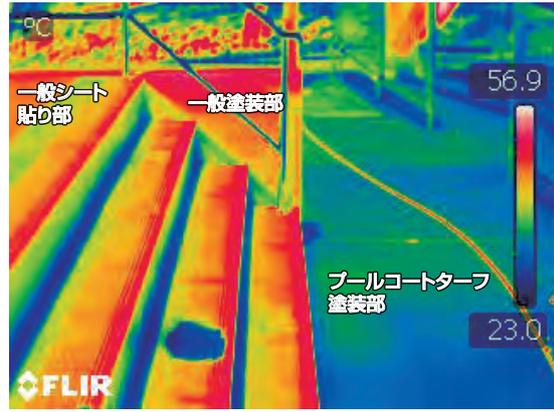
#### ●プールサイド遮熱工法(II)

物件名	沖縄県立 鏡が丘養護学校	赤穂市立 御崎小学校	赤穂市立 尾崎小学校 (御崎小学校との比較)
測定日	7月15日	8月1日	8月1日
外気温(℃)	32.1	33.0	33.0
測定方法	接触式 表面温度計		
色	ブライト ブルー	パステル グリーン	ブライトグリーン ユカクリート ターフ No.22 ライトグリーン
測定結果(℃)	39.8	39.2	42.1 49.7

#### ●プールサイド遮熱工法(III) アスファルト塗装面

物件名	水上公園プールサイド		
測定日	8月25日	外気温(℃)	35.3
測定方法	接触式表面温度計		
測定結果(℃)	ブライトブルー		42.6
	アスファルト塗装面		49.6

## サーモグラフィー画像による温度比較

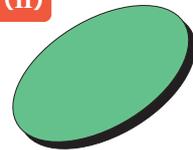


## COLORS 注) 色見本は印刷のため色調が異なります。

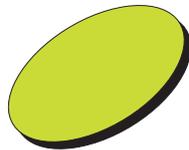
### プールサイド遮熱工法 (I), (II)

#### 全5色

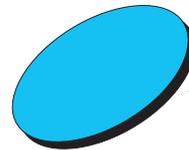
色名  
近赤外反射率(明度)  
日塗工No.(近似色)



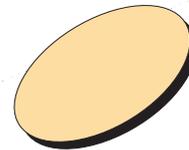
ブライトグリーン  
70.4(68.3)  
45-70P



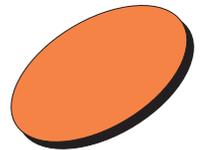
パステルグリーン  
80.3(77.8)  
32-80P



ブライトブルー  
81.2(70.0)  
69-70P濃いめ



クリーム  
80.1(77.3)  
22-85H



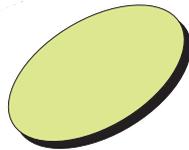
オレンジ  
77.9(64.6)  
15-60V

### プールサイド遮熱工法 (III)

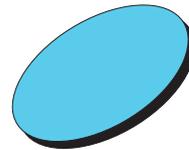
#### 全4色

色名  
近赤外反射率(明度)  
日塗工No.(近似色)

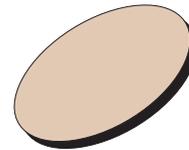
- ・実物は幾分鮮明な色彩になります。
- ・艶消し仕上げになります。
- ・色調や仕上がりは(I)や(II)とは異なります。



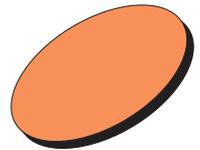
パステルグリーン  
82.2(79.7)  
37-80L



ブライトブルー  
81.6(76.2)  
69-80H



クリーム  
80.0(79.0)  
19-85D



オレンジ  
84.5(69.4)  
12-70T

## 荷 姿

### プールサイド遮熱工法 (I), (II)

<b>プールコート モルタル用プライマー M</b> 16kg(1液) ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01050	<b>ユカクリートチップ 処理剤</b> 4kg(1液)、16kg(1液) <span style="float:right">冬型あり</span>	<b>ゴムチップ #800-H</b> 20kg
<b>プールコートターフ 中塗</b> (ライトグリーン・クリーミーホワイト) 18kg セット(主剤 6kg 硬化剤 12kg) ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01210	<b>ユカクリートチップ クリヤー#500</b> 18kg(1液) ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01041	<b>プールコートターフ</b> 17.6kg セット(主剤 12kg 硬化剤 4kg) ターフ弾性骨材 1.6kg ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01132

### プールサイド遮熱工法 (III)

<b>プールコート サイドカラー プライマー W</b> 15kg(1液水系) ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01276	<b>プールコート サイドカラー 遮熱タイプ</b> 15kg(1液水系) ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日塗工登録番号 D01275
---	---

#### その他の注意

1. テントを張り、テーブルやイスを配置する場合には、被膜を傷付けないよう足回りに注意して下さい。
2. プールサイドに汚泥や枯れ葉がたまって排水が阻害されると被膜にふくれを生じることがありますので注意して下さい。
3. 施工に当たり、現場固有の事象がある場合や塗料の性質・性能・使用方法等についてご質問があるときは、事前にお問い合わせ下さい。